

1 いしかわエンゼルプラン2025の策定過程

(1) いしかわエンゼルプラン2020 推進協議会、石川県子ども政策審議会の開催

開催年月日	主な審議事項等
R6.7.30 (火)	<p>いしかわエンゼルプラン2020推進協議会</p> <p>議題 (1)「いしかわエンゼルプラン2020」の改定について (2) 意見交換 「結婚、妊娠・出産」「子育て支援」「子どもの健全育成」 「保護を必要とする子どもへの支援」 「働き方（ワークライフバランス）」 「その他（子どもの意見聴取、石川県創造的復興プラン）」</p>
R6.10.15 (火)	<p>石川県子ども政策審議会 公聴会 （大学生・働いている若者からの意見聴取（6名））</p> <p>テーマ 「子育ての意識醸成」について</p>
R6.11.20 (水)	<p>石川県子ども政策審議会・いしかわエンゼルプラン2020 推進協議会合同会議</p> <p>議題 「いしかわエンゼルプラン2025（仮称）」の骨子案について</p>
R7.2.3 (月)	<p>石川県子ども政策審議会・いしかわエンゼルプラン2020 推進協議会合同会議</p> <p>議題 「いしかわエンゼルプラン2025（案）」について</p>

(2) その他

令和6年6月 「結婚・子育てに関する県民意識調査」の実施

令和6年7月 「子どもの意識調査（子どもの意見アンケート）」の実施

令和7年2月 パブリックコメントの実施



2 いしかわエンゼルプラン2020 推進協議会構成員名簿 (R7.3)

協議会役職	役 職 名	氏 名
	金沢市こども未来局 局長	安 宅 英 一
	石川県商工会議所連合会 会頭	安 宅 建 樹
	一般社団法人石川県私立幼稚園協会 理事長	荒 井 徹 成
	石川県PTA連合会 会長	宇 田 直 人
	石川県知的障害者福祉協会 会長	雄 谷 良 成
	石川県放課後児童クラブ団体連絡協議会 会長	釜 土 達 雄
	石川県青年団協議会 会長	河 崎 智 広
	NPO法人かもママ 理事長	河 原 廣 子
	一般社団法人石川県認定こども園協会 会長	木 村 昭 仁
	公益社団法人石川県看護協会 会長	小 藤 幹 恵
副 会 長	石川県小中学校長会 会長	才 鷹 浩 子
副 会 長	一般社団法人石川県経営者協会 会長	高 松 喜 与 志
会 長	金沢大学 名誉教授	田 邊 俊 治
	石川県青少年育成推進指導員連絡会 会長	中 黒 公 彦
	石川県社会福祉協議会保育部会保育士会 会長	中 田 実 千 世
	石川県商工会連合会 会長	長 基 健 司
	石川県子ども会連合会 会長	縄 寛 敏
	石川県婦人団体協議会 会長	能 木 場 由 紀 子
	日本労働組合総連合会石川県連合会 会長	福 田 佳 央
	公益財団法人いしかわ結婚・子育て支援財団 理事長	細 川 悦 子
副 会 長	石川県社会福祉協議会保育部会 部会長	前 田 武 司
	石川県民生委員児童委員協議会連合会 会長	三 国 外 喜 男
	子育て中の親	村 上 雅 子
	石川労働局 局長	八 木 健 一
	公益社団法人石川県医師会 会長	安 田 健 二
	公益財団法人石川県母子寡婦福祉連合会 会長	山 本 峰 子
	石川県健康福祉部 部長	柚 森 直 弘
	石川県児童養護協議会 会長	横 川 伸
	パパネットあさがお 代表	横 山 由 裕

(50音順、敬称略)

3 石川県子ども政策審議会委員名簿 (R7.3)

審議会役職	役 職 名	氏 名
	開業保健師	大 畑 友 紀
	みらい子育てネット石川県地域活動連絡協議会 会長	奥 野 美 彌 子
	石川県高等学校長協会 委員	桶 川 政 江
	石川県放課後児童クラブ団体連絡協議会 会長	釜 土 達 雄
	石川労働局職業安定部職業安定課 課長補佐	川 越 寛 子
	石川県小中学校長会 副会長	小 山 貴 子
	子ども夢フォーラム 代表	高 木 眞 理 子
会 長	金沢大学 名誉教授	田 邊 俊 治
青少年健全育成部会長	石川県青少年育成推進指導員連絡会 会長	中 黒 公 彦
	北陸学院大学健康科学部栄養学科 教授	新 澤 祥 恵
	石川県知的障害者福祉協会	新 田 久 代
	北國新聞社 論説委員	野 口 強
幼児教育・保育部会長	金沢星稜大学 教授	開 仁 志
	石川県社会福祉協議会保育部会 部会長	前 田 武 司
	一般社団法人石川県私立幼稚園協会 理事	源 恭 子
	子育て中の親	本 谷 瑠 璃
	石川県民生委員児童委員協議会連合会 副会長	守 世 志 子
	公益社団法人石川県医師会 会長	安 田 健 二
	石川県婦人団体協議会 副会長	柳 幸 枝
児童福祉部会長	石川県児童養護協議会 会長	横 川 伸
	石川県保護司会連合会 会長	米 澤 明 孝

(50音順、敬称略)



4 「結婚・子育てに関する県民意識調査」の概要

調査目的

県民の結婚・出産・子育てに関する意識を調査し、令和2年に策定した「いしかわエンゼルプラン2020」改定のための基礎資料とする。

調査対象

石川県内に在住する満18歳以上45歳以下の男女

抽出方法

層化二段無作為抽出法

○層化基準：19市町をそれぞれ1つの層にする

○抽出名簿：住民基本台帳

○抽出数：3,500人

調査方法

郵送またはインターネットにより回答

調査期間

令和6年6月7日～6月30日

回答者数

1,156人（回答率33.0%）

（郵送532通、Web624通）

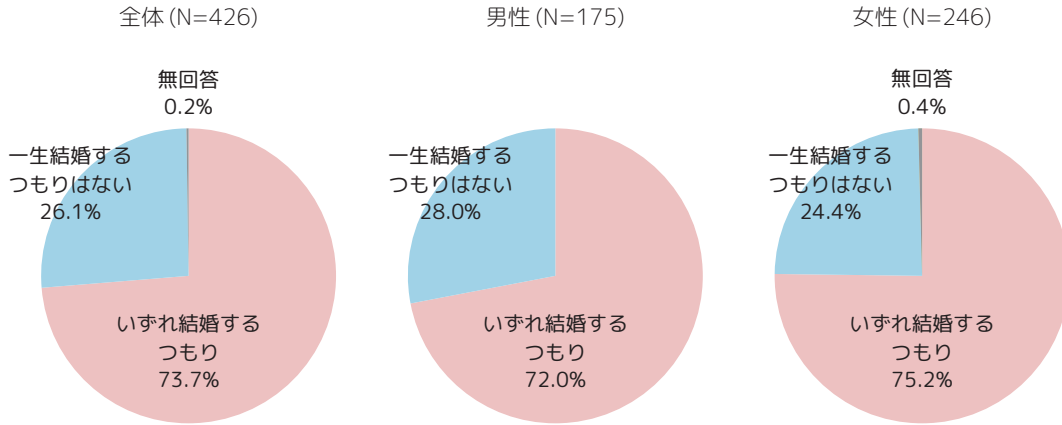
〈目次〉

1. 結婚に関する意識（未婚の方のみ聴取）…………… 113
2. 子どもを持つこと、育てることに対する意識
（子どもがいない方のみ聴取）…………… 116
3. 子育ての環境に関する状況・意識
（子どもがいる方のみ聴取）…………… 118
4. 結婚に対する意識…………… 128
5. ワークライフバランスに関する意識…………… 129

1 結婚に関する意識（未婚の方のみ聴取）

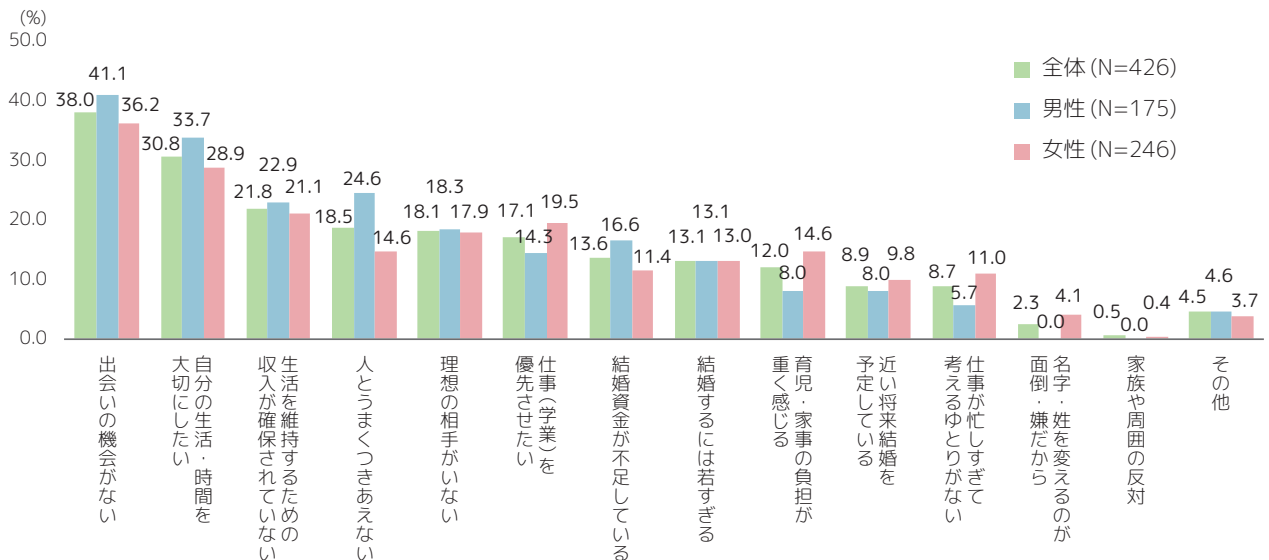
■ 将来的な結婚願望 - 将来結婚したいと思いますか -

- 未婚者のうち、全体で 73.7% (男性 72.0%、女性 75.2%) が結婚したいと考えている。前回調査から増加しているが、前は「わからない」の選択肢があり、単純比較はできない。〔前回調査（平成 31 年 3 月）：全体 62.8% (男性 59.3%、女性 64.3%)〕
- 性別では、女性の方が高い。



■ 結婚していない理由 - 結婚されていない理由として、あてはまるものを選んでください（3つ以内） -

- 一番多い理由は、「出会いの機会がない」が全体で 38.0% (男性 41.1%、女性 36.2%)〔前回調査：全体 29.3% (男性 28.8%、女性 29.5%)〕、次いで、「自分の生活・時間を大切にしたい」が全体で 30.8% (男性 33.7%、女性 28.9%)〔前回調査：全体 38.3% (男性 42.4%、女性 36.4%)〕となっており、前回と1位と2位の順位が入れ替わる結果となっている。
- 特に男性で「出会いの機会がない」が 41.1%〔前回調査：28.8%〕で最も多く、前回調査に比べ 12.3 ポイント高くなっている。女性でも「出会いの機会がない」が 36.2%〔前回調査：29.5%〕で最も多く、前回調査に比べ、6.7 ポイント高くなっている。

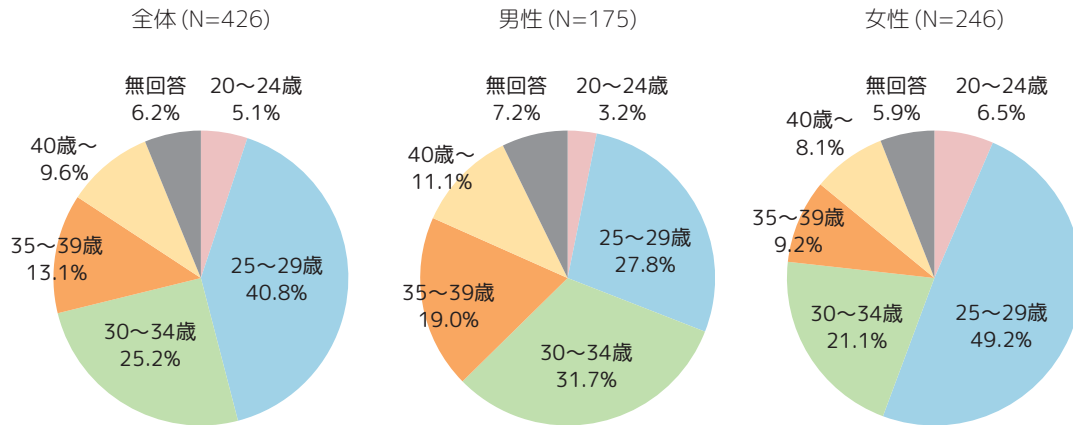


参考資料



■ 結婚したい年齢

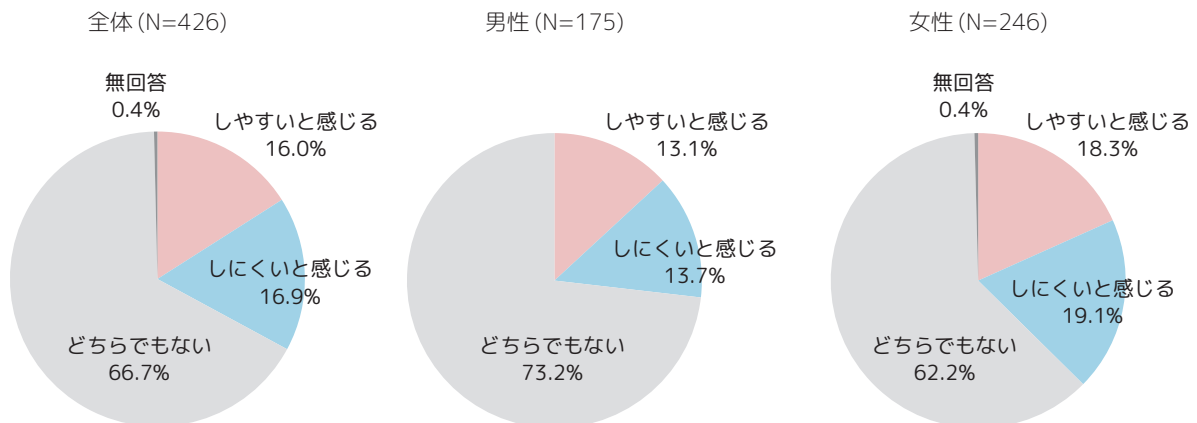
○男性の31.0%が20代のうちに結婚を望むのに対し、女性は55.7%と半数以上が20代のうちの結婚を望んでいる。男性の平均は31.9歳、女性は29.7歳となった。



■ 石川県は結婚しやすいか

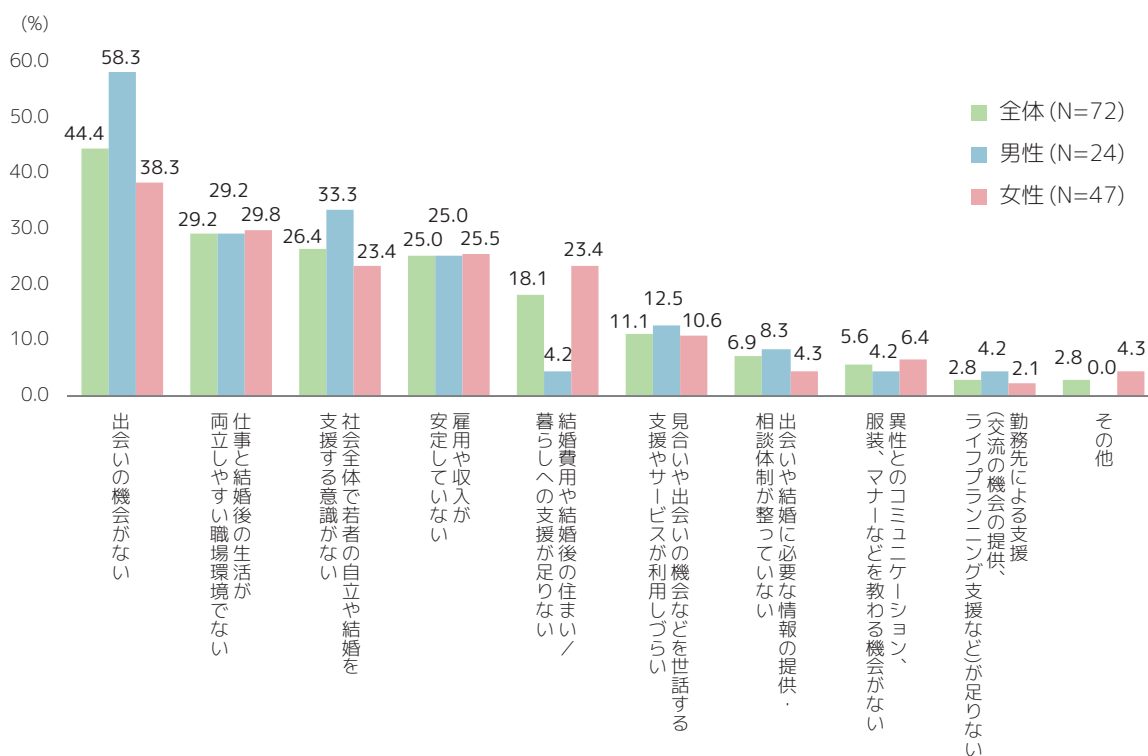
○一番多い回答は「どちらでもない」が全体で66.7%（男性73.2%、女性62.2%）となっている。

○男性より女性のほうが、結婚しやすいと感じる割合が高い結果となった。「どちらでもない」は男性のほうが女性より11.0ポイント高くなっている。



■ 結婚しにくい理由

- 結婚しにくい理由は、「出会いの機会がない」が最も多く、全体で44.4%（男性58.3%、女性38.3%）と男女共に最も多い理由となっている。
- 次いで多い理由は、「仕事と結婚後の生活が両立しやすい職場環境でない」が全体で29.2%（男性29.2%、女性29.8%）となっている。
- 男女差の大きい項目では「出会いの機会がない」で男性のほうが女性より、20.0ポイント高くなっている。

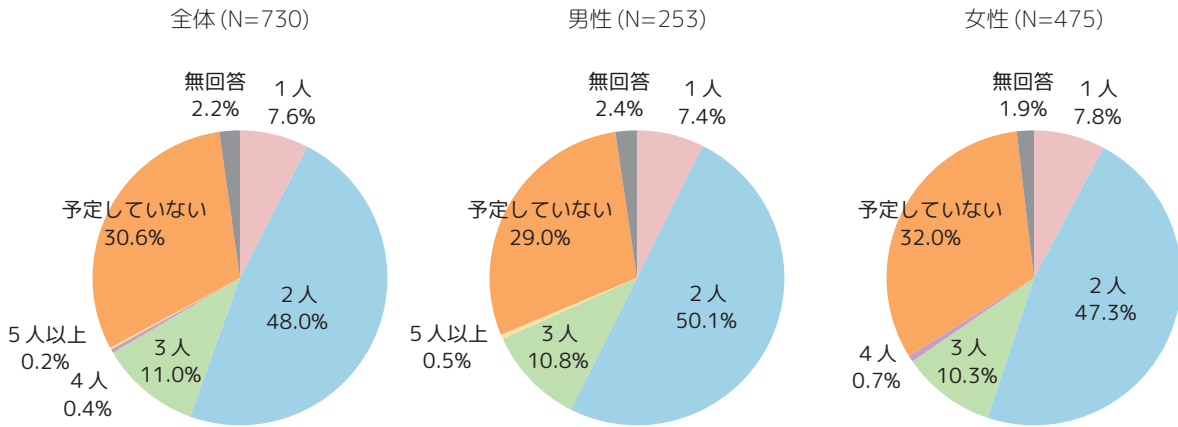




2 子どもを持つこと、育てることに対する意識（子どもがいない方のみ聴取）

■ 理想の子ども人数 –（お子さんがいない方）子どもの数は何人が理想ですか–

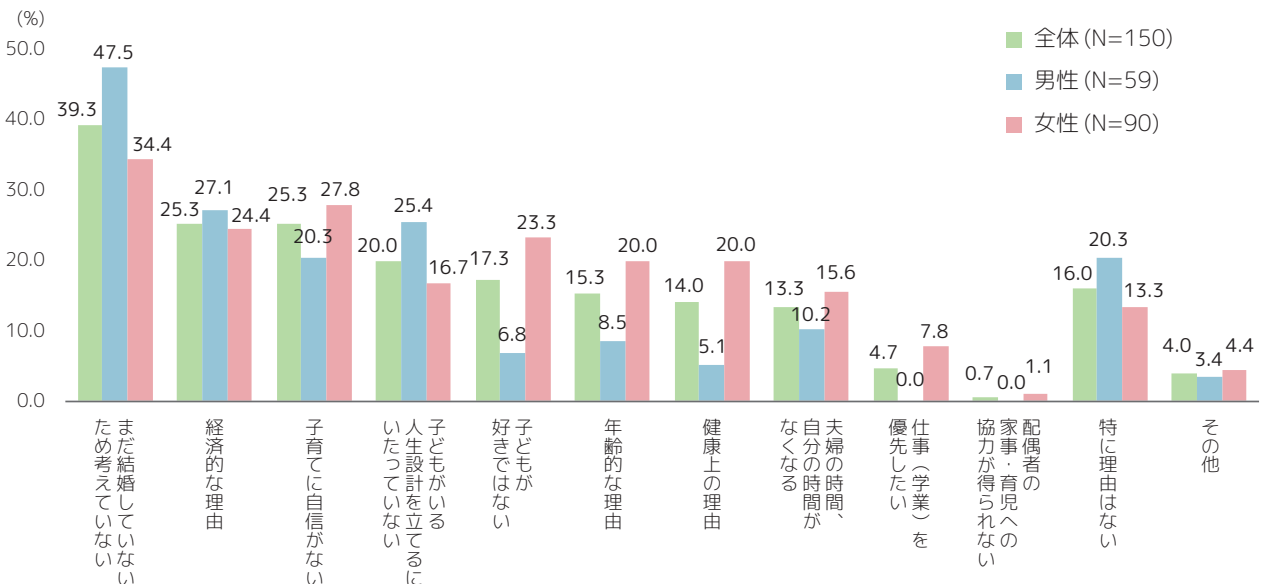
- 子どもがいない方や未婚者の理想の子ども人数は、「2人」が全体で48.0%と最も多く、次いで、子どもを「予定していない」が30.6%〔前回全体20.5%〕と前回より10.1ポイント高くなっている。
- 性別では、子どもを「予定していない」人は、男性28.9%、女性32.0%となっており、〔前回：男性13.5%、女性24.4%〕男性が前回にくらべ約15ポイント高くなっている。



■ 子どもを予定しない理由

–（子どもを予定していない方に）その主な理由として、あてはまるものを選んでください（3つ以内）–

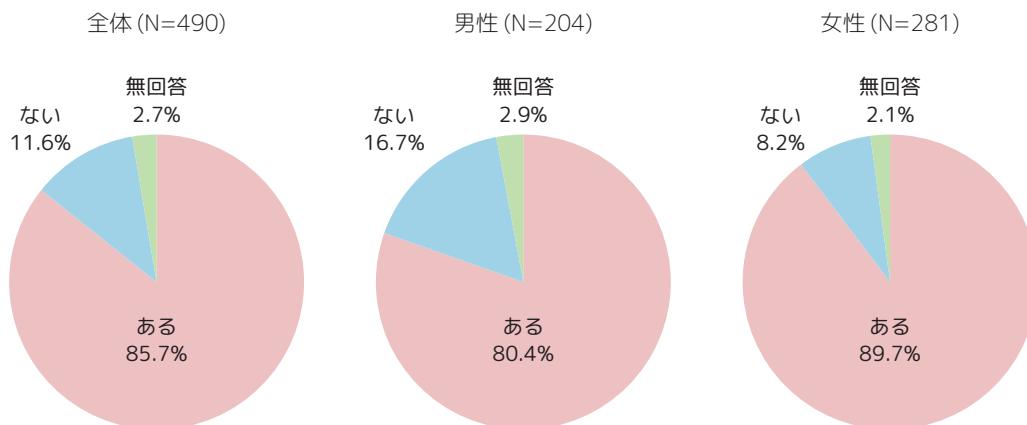
- 子どもがいない方が、子どもを「予定していない」理由は、全体で「まだ結婚していないため考えていない」が、全体39.3%（男性47.5%、女性34.4%）〔前回調査：全体34.5%（男性38.5%、女性33.3%）〕と最も多くなっており、次いで「経済的な問題」で全体25.3%（男性27.1%、女性24.4%）〔前回調査：全体21.8%（男性53.8%、女性11.9%）〕、「子育てに自信がない」全体25.3%（男性20.3%、女性27.8%）〔前回調査：全体21.8%（男性23.1%、女性21.4%）〕となっている。
- 「まだ結婚していないため考えていない」を除くと、男性では「経済的な理由」、女性では「子育てに自信がない」が最も多い理由となっている。



参考資料

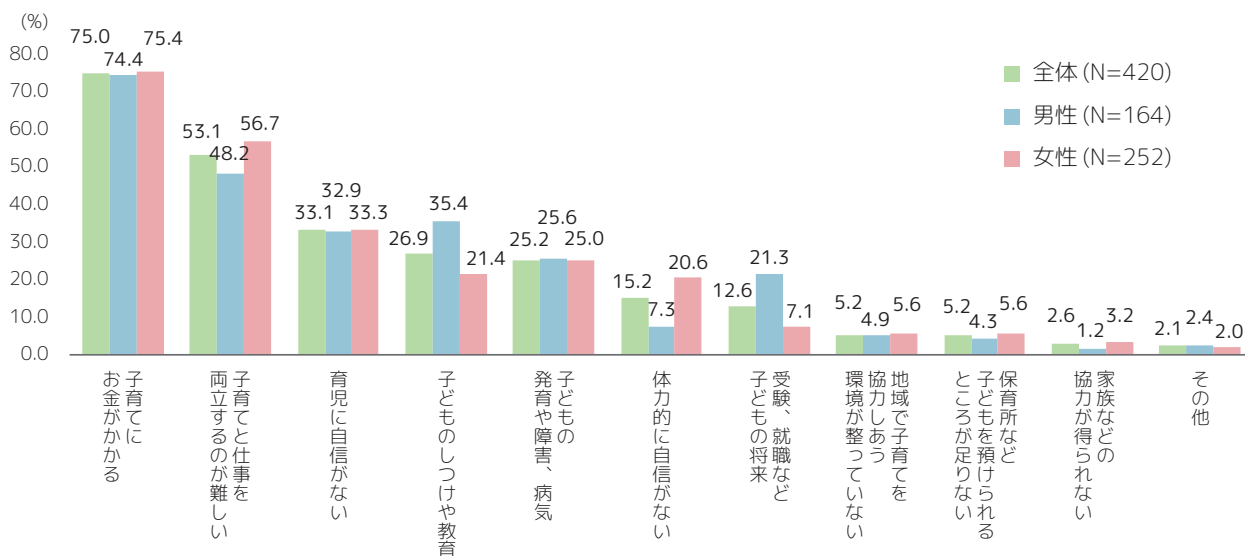
■ 子どもを育てることに対する不安 - 子どもを育てることに対して不安はありますか -

○子どもがいない方や未婚者のうち、子どもを育てることに「不安がある」と回答した人は、全体で85.7% (男性80.4%、女性89.7%)と、前回調査より、約10ポイント多くなっている。〔前回調査：全体75.7% (男性78.1%、女性74.4%)、前々回調査：全体63.2% (男性56.5%、女性68.3%)〕
○性別では、女性が男性より高くなっており、前回調査と逆になっている。



■ 子どもを育てることに対する不安 - (不安がある方に) どのような不安ですか (3つ以内) -

○子どもがいない方や未婚者が子どもを育てることについて「不安」を感じる理由で、一番多いものは、「子育てにお金がかかる」が全体で75.0% (男性74.4%、女性75.4%)となっており、前回調査の全体65.5% (男性73.3%、女性60.9%)と変わっていないが、10ポイント増加している。男女とも一番目に挙げている。
○二番目に多い理由は、「子育てと仕事を両立するのが難しい」が全体で53.1% (男性48.2%、女性56.7%)〔前回：47.3% (男性36.0%、女性53.9%)〕となっており、男性のポイントが12.2ポイント増加した。
○そのほかの理由として、「育児に自信がない」「子どものしつけや教育」などが続いている。

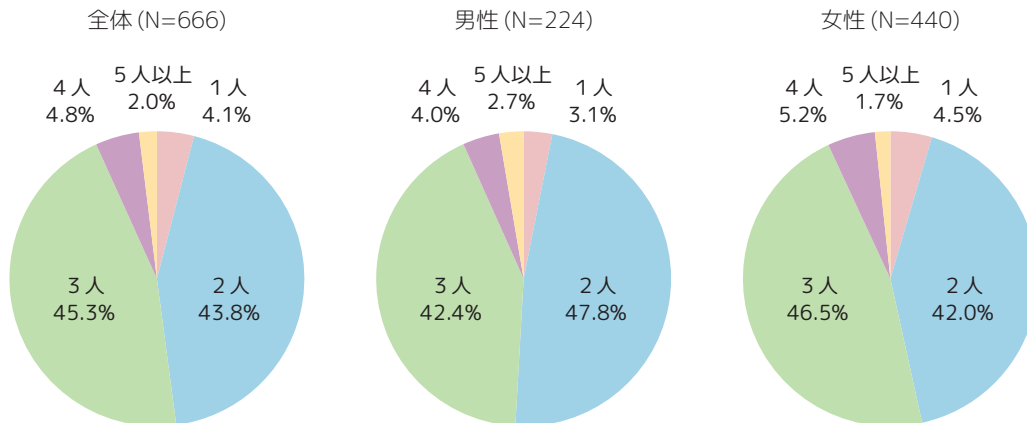




3 子育ての環境に関する状況・意識（子どもがいる方のみ聴取）

■ 理想の子ども人数 –（お父さんがいる方に）子供の数は何人が理想ですか–

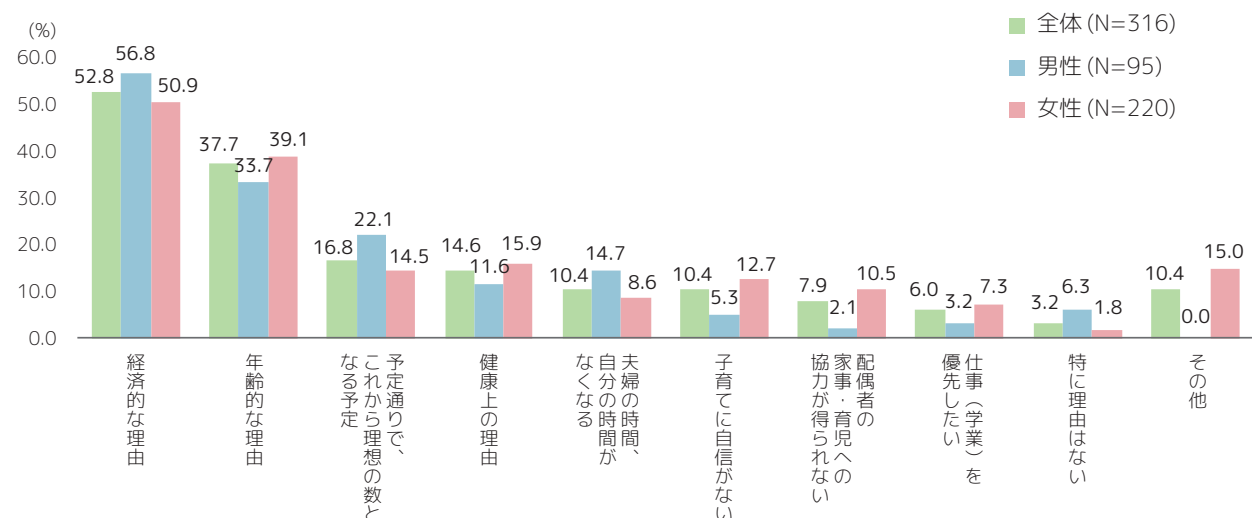
- お父さんがいる方の理想の子ども人数は、「3人」が45.3%と最も多く、次いで「2人」が全体で43.8%となっており、この2項目で全体の約9割を占める。
- 男女別で見ると、男性では「2人」と回答した人が47.8%、「3人」と回答した人が42.4%に対し、女性では「3人」と回答した人が46.6%となっており「2人」と回答した人の42.0%を上回っている。



■ 理想より子どもの数が少ない理由

–（お父さんがいる方に）理想より子どもの数が少ない理由として、あてはまるものを選んでください（3つ以内）–

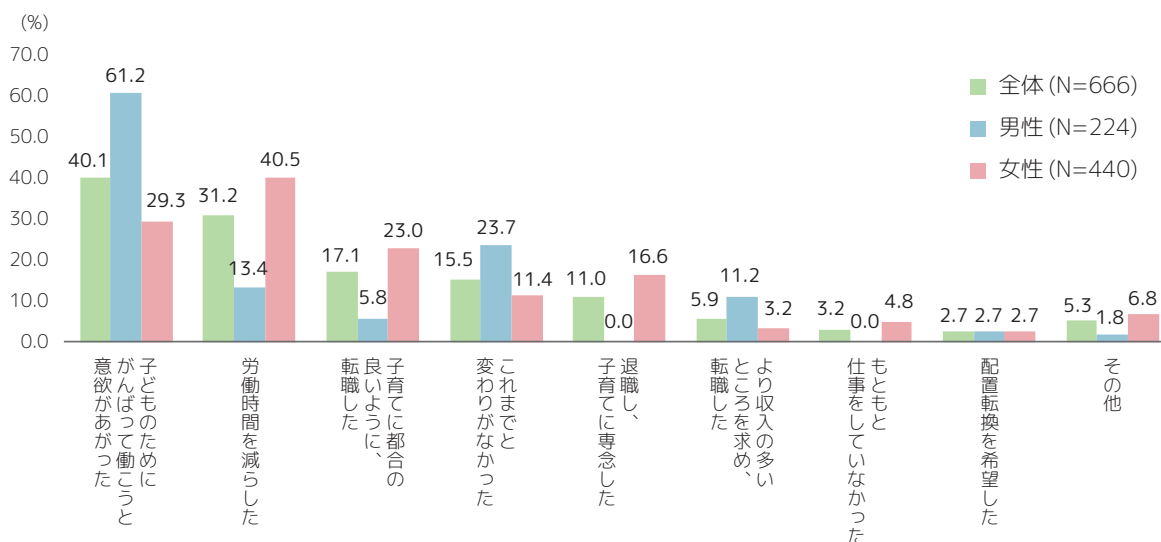
- お父さんのいる方で、「経済的な理由」が最も多く、全体で52.8%（男性56.8%、女性50.9%）〔前回調査：全体47.1%（男性47.4%、女性47.5%）〕と男女共に最も多い理由となっている。
- 次いで多い理由は、「年齢的な理由」全体で37.7%（男性33.7%、女性39.1%）〔前回調査：全体24.1%（男性24.8%、女性23.8%）〕と前回よりも増加している。



■ 子どもが生まれた後の働き方の変化

－お子さんが生まれたことによって、あなたの働き方に変化がありましたか（2つ以内）－

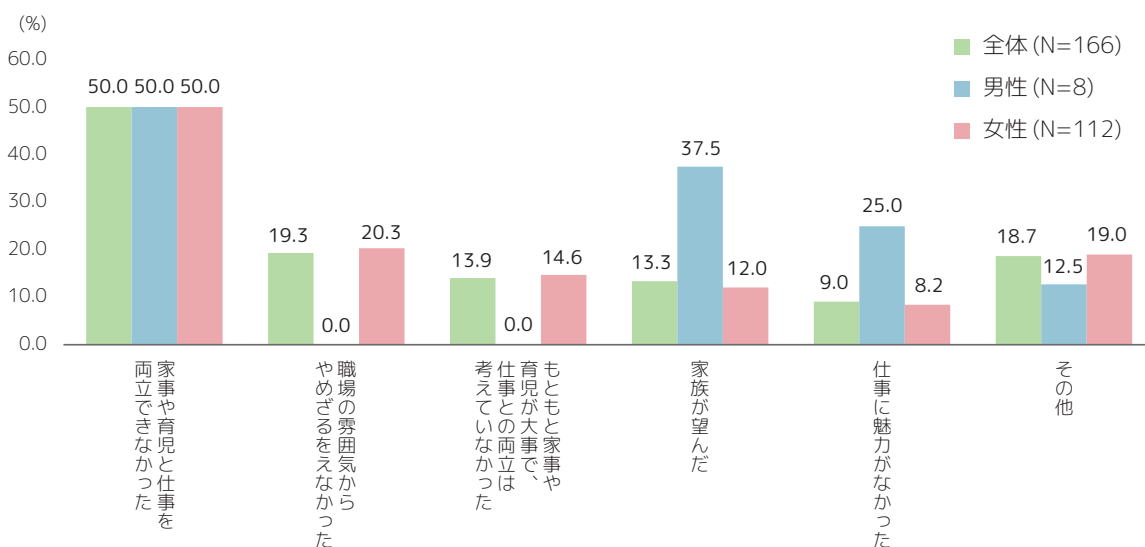
- 「子どものためにがんばって働こうと意欲があがった」が全体で40.1%（男性61.2%、女性29.3%）と一番多く、特に男性の数値が高い。前回調査と傾向は同じである。
- このほか、男性では「これまでと変わりがなかった」(23.7%)が、女性では「労働時間を減らした」(40.5%)が多くなっている。



■ 仕事を辞めた理由

－（出産、育児を機に仕事を辞めた方に）仕事を辞めた主な理由としてあてはまるものを選んでください（3つ以内）－

- 仕事を辞めた理由としては、「家事や育児と仕事を両立できなかった」が50.0%〔前回調査：全体40.3%〕と最も多く、次いで「職場の雰囲気からやめざるをえなかった」が19.3%〔前回調査：全体19.5%〕で続いている。

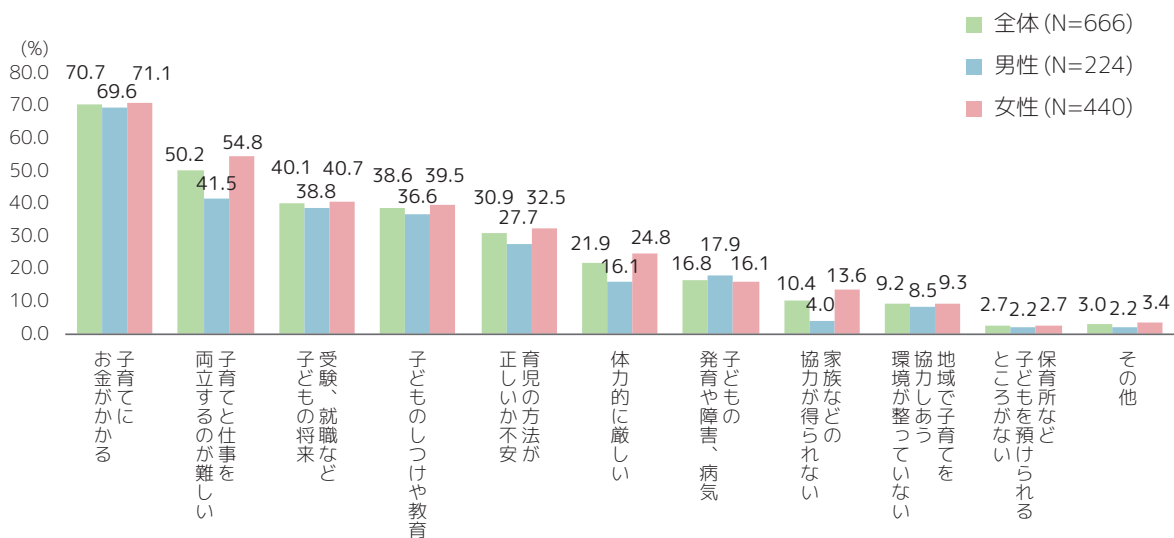




■ 子育てに関する悩み

－（お子さんがいる方に）子育てに関して悩んでいることはありますか（あてはまるものをすべて選択）－

- 子育てに関する悩みとして、一番多いのは「子育てにお金がかかる」が全体で 70.7%（男性 69.6%、女性 71.1%）と、男女とも最も多く挙がっており、前回調査と傾向は変わらない。
- 二番目に多い理由は、「子育てと仕事を両立するのが難しい」が全体で 50.2%（男性 41.5%、女性 54.8%）となっており、三番目に多い理由は、「受験、就職など子どもの将来」が全体で 40.1%（男性 38.8%、女性 40.7%）となっている。
- 前回調査で「子どものしつけや教育」が 44.4% と二番目だったが、今回調査では 38.6% と四番目になっている。

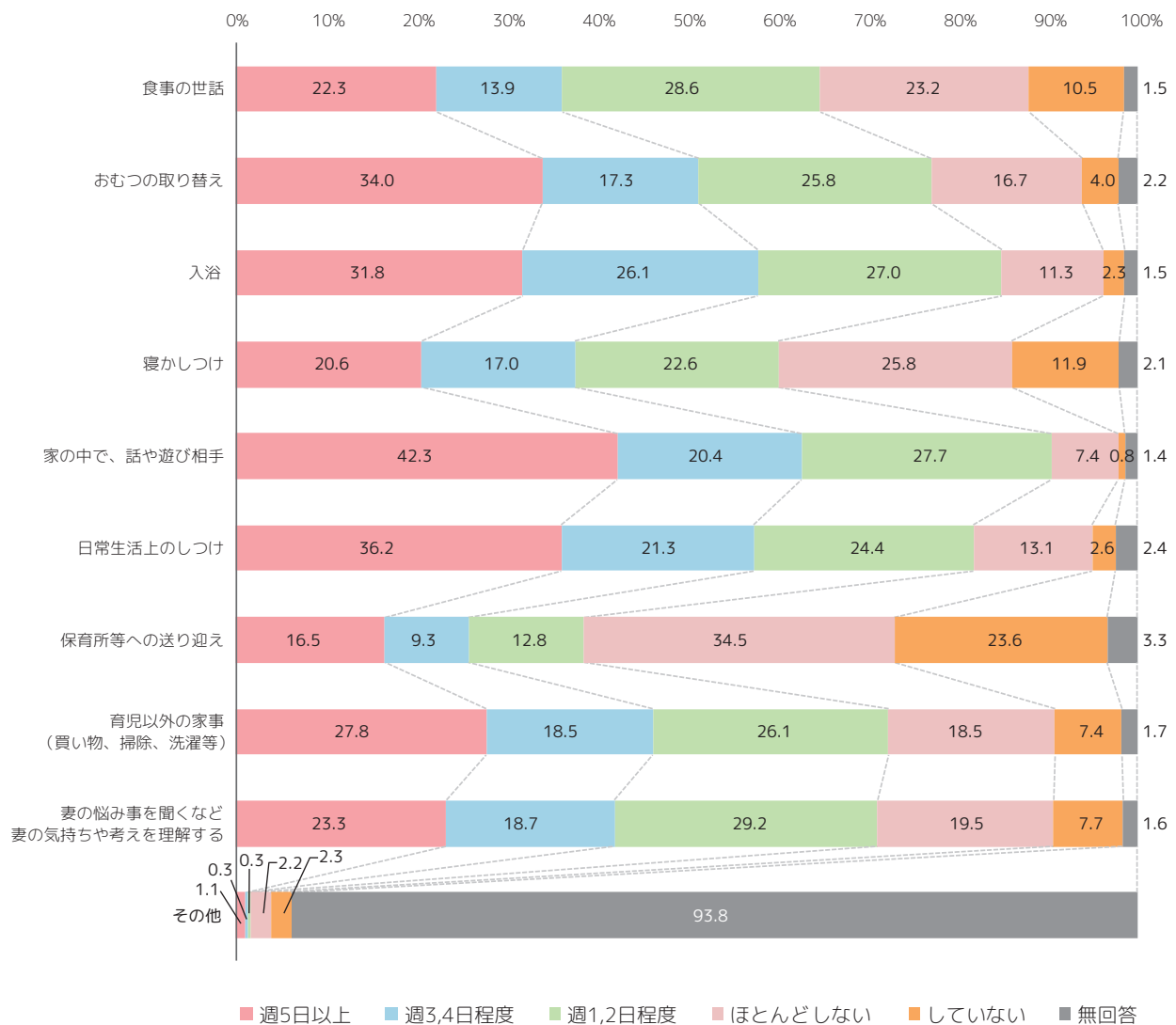


■ 父親の育児・家事の頻度

－（配偶者がいる方に）小学校入学前の育児や家事について父親が行っている（行っていた）頻度はどのくらいですか－
 ※父親は自身の、母親は父親の状況を回答

「父親が行っている育児・家事の頻度」は、

- 「週5日以上の頻度」では「家の中で、話や遊び相手」が42.3%と最も多く「保育所等への送り迎え」が16.5%と最も少ない。
- 「週3、4日程度の頻度」では「日常生活上のしつけ」が21.3%と最も多く「保育所等への送り迎え」が9.3%と最も少ない。
- 「週1、2日程度の頻度」では「妻の悩み事を聞くなど妻の気持ちや考えを理解する」が29.2%と最も多く「保育所等への送り迎え」が12.8%と最も少ない。
- 「ほとんどしない」では「保育所等への送り迎え」が34.5%と最も多く「家の中で、話や遊び相手」が7.4%と最も少ない。
- 同様に「していない」でも、「保育所等への送り迎え」が23.6%と最も多く「家の中で、話や遊び相手」が0.8%と最も少ない。



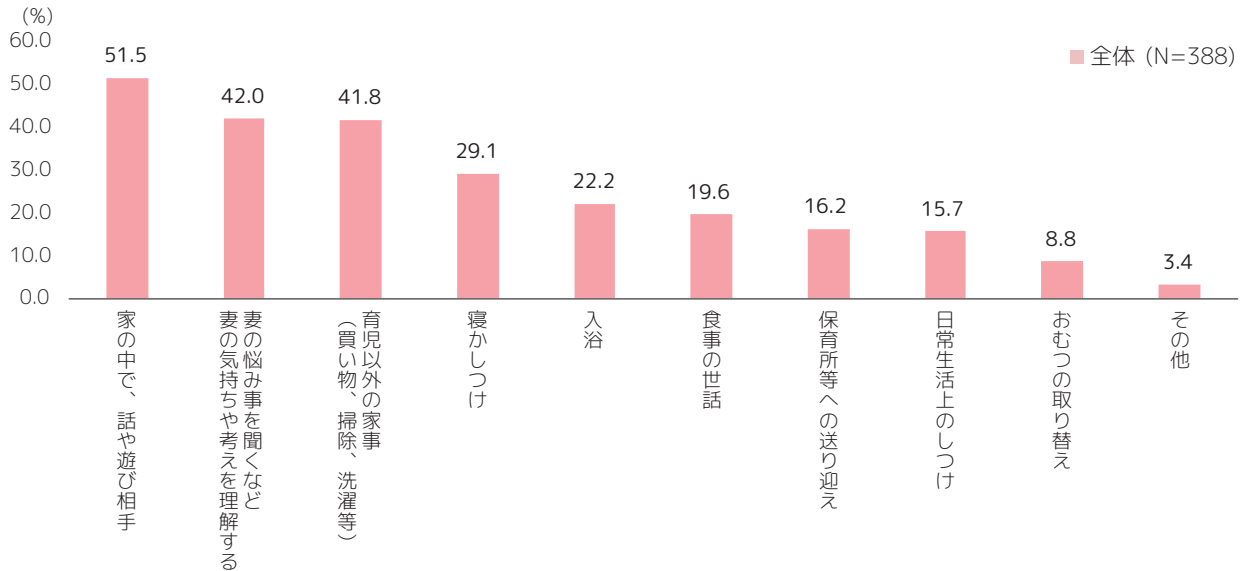
参考資料



■ 父親に行って欲しい育児・家事の内容

－（母親の方に）父親に行ってほしい（ほしかった）ことは何ですか（3つ以内）－

○全体では、「家の中で、話や遊び相手」が51.5%〔前回調査では二番目：35.9%〕と最も多くなっており、次いで「妻の悩み事を聞くなど妻の気持ちや考えを理解する」が42.0%〔前回調査では三番目：31.0%〕、「育児以外の家事（買い物、掃除、洗濯等）」が41.8%〔前回調査では一番目：37.7%〕となっている。



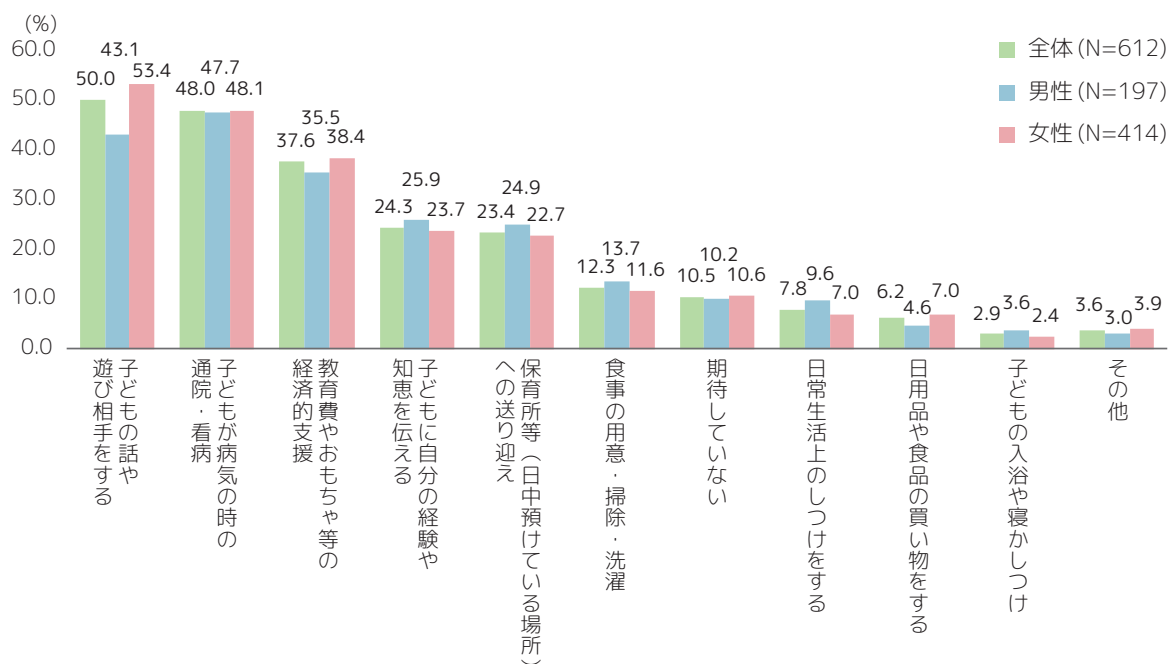
■ 祖父母に期待する支援

－（お子さんの祖父・祖母いる方に）祖父・祖母に期待する支援は何ですか（3つ以内）－

○全体では「子どもとの話や遊び相手をする」が最も多く 50.0%となっている。

○次いで「子どもが病気の時の通院・看病」が 48.0%となっている。

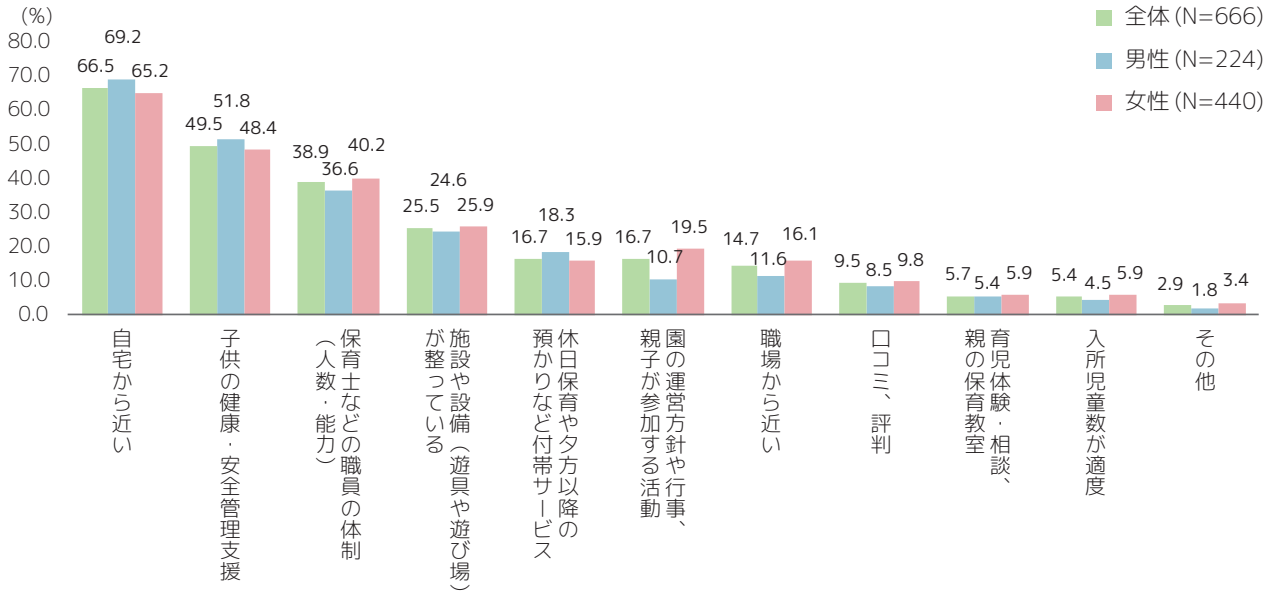
ともに女性の方が多く回答している。





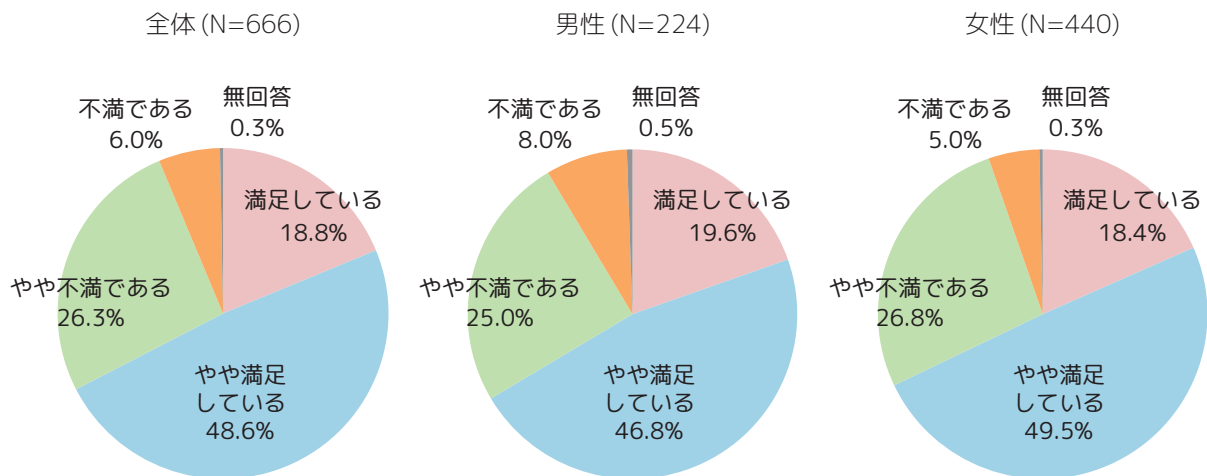
■ 保育所・幼稚園で重視すること

- 保育所・幼稚園を利用するにあたって重視することとして、一番多いのは「自宅から近い」が全体で66.5%（男性69.2%、女性65.2%）と、男女とも特に多く挙がっている。
- 二番目は、「子どもの健康・安全管理支援」が全体で49.5%（男性51.8%、女性48.4%）となっている。男女とも上位2項目の順位は同じである。
- その他「保育士などの職員の体制」全体で38.9%（男性36.6%、女性40.2%）と続く。



■ 石川県での子育てのしやすさ

- 「満足している」「やや満足している」の合計は全体で67.4%（男性66.5%、女性67.9%）、「やや不満である」「不満である」全体で32.3%（男性33.0%、女性31.8%）と満足の高割合がなっている。



参考資料

■ 前問で「満足している」「やや満足している」と回答した人が、子どもの成長段階に応じて子育てがしやすいと感じる理由

- 「妊娠・出産時期」では、「母子保健サービス」25.6%、「祖父母など家族の支援」25.2%が主な理由として挙げられている。
- 「新生児・乳児期」では、「祖父母など家族の支援」29.8%、「母子保健サービス」25.6%が主な理由として挙げられている。
- 「幼児期」では、「子どもが日常的に利用するサービス」46.1%、「祖父母など家族の支援」26.7%が主な理由として挙げられている。
- 「小学校（低・中学年）期」では「祖父母など家族の支援」19.4%、「子どもが日常的に利用するサービス」18.9%が主な理由として挙げられている。
- 「小学校（高学年）期」では、「医療支援」13.4%、「配偶者の支援」10.9%が主な理由として挙げられている。
- 「中・高校生期」では、「医療支援」10.9%、「経済的な支援」10.7%が主な理由として挙げられている。
- 「高校卒業以降」では、「経済的な支援」8.2%、「配偶者の支援」「祖父母など家族の支援」5.8%が主な理由として挙げられている。

全体(N=449)		子育てしやすい理由											
		専門機関による相談支援	母子保健サービス	子どもが日常的に利用するサービス	多様な子育て支援サービス	配偶者の支援	祖父母など家族の支援	近隣地域・住民による支援	職場の支援	経済的な支援	就労支援	医療支援	その他
子どもの成長段階	妊娠・出産時期	③24.9	①25.6	7.3	5.6	23.4	②25.2	4.2	14.9	13.6	3.1	17.6	0.4
	新生児・乳児期	15.1	②25.6	21.4	16.0	③22.7	①29.8	6.7	13.1	12.5	3.8	21.8	0.4
	幼児期	6.7	5.3	①46.1	17.8	22.0	②26.7	6.0	15.4	12.7	3.6	③24.3	1.1
	小学校（低・中学年）期	1.6	0.4	②18.9	6.2	15.6	①19.4	7.8	10.5	11.8	2.0	③17.6	0.4
	小学校（高学年）期	1.3	0.2	3.3	3.1	②10.9	③10.7	5.1	5.1	8.7	2.0	①13.4	0.2
	中・高校生期	0.7	0.2	0.2	0.4	③8.2	7.3	3.1	3.1	②10.7	2.0	①10.9	0.2
	高校卒業以後	0.2	0.0	0.2	0.0	②5.8	②5.8	0.7	1.8	①8.2	2.7	③5.6	0.2



■ 前問で「やや不満である」「不満である」と回答した人が、 子どもの成長段階に応じて子育てがしにくく感じる理由

- 「妊娠・出産時期」では、「経済的な支援」38.6%「専門機関による相談支援」「職場の支援」21.4%が主な理由として挙げられている。
- 「新生児・乳児期」では、「経済的な支援」42.8%、「多様な子育て支援サービス」24.7%が主な理由として挙げられている。
- 「幼児期」では、「経済的な支援」40.9%、「多様な子育て支援サービス」30.7%が主な理由として挙げられている。
- 「小学校（低・中学年）期」では「経済的な支援」41.4%、「職場の支援」19.1%、が主な理由として挙げられている。
- 「小学校（高学年）期」では、「経済的な支援」36.7%、「医療支援」13.5%が主な理由として挙げられている。
- 「中・高校生期」では、「経済的な支援」42.3%、「医療支援」14.9%が主な理由として挙げられている。
- 「高校卒業以降」では、「経済的な支援」37.2%、「医療支援」12.6%が主な理由として挙げられている。

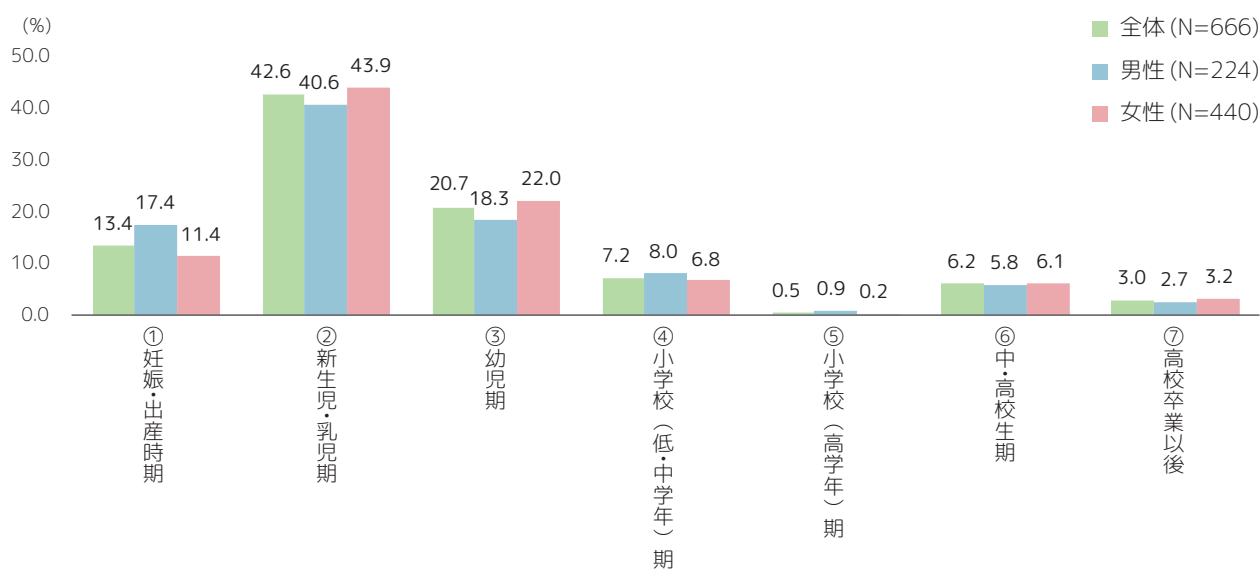
全体(N=215)		必要な支援											
		専門機関による相談支援	母子保健サービス	子どもが日常的に利用するサービス	多様な子育て支援サービス	配偶者の支援	祖父母など家族の支援	近隣地域・住民による支援	職場の支援	経済的な支援	就労支援	医療支援	その他
子どもの成長段階	妊娠・出産時期	②21.4	③20.0	7.0	10.7	15.8	8.8	6.0	②21.4	①38.6	7.9	16.7	3.7
	新生児・乳児期	16.3	③20.5	15.8	②24.7	15.8	11.2	8.4	19.1	①42.8	11.2	18.6	6.0
	幼児期	10.2	5.1	③29.8	②30.7	14.0	12.6	7.9	22.3	①40.9	11.6	18.1	5.6
	小学校（低・中学年）期	4.7	0.9	③18.1	15.8	9.3	8.8	5.6	②19.1	①41.4	8.4	③18.1	2.8
	小学校（高学年）期	1.9	0.5	6.0	5.1	7.0	5.1	4.7	③10.2	①36.7	4.2	②13.5	1.4
	中・高校生期	1.9	0.5	0.9	2.8	5.1	4.2	3.7	③7.9	①42.3	4.2	②14.9	1.4
	高校卒業以後	0.9	0.5	0.5	1.9	4.7	2.8	2.8	5.6	①37.2	③8.4	②12.6	0.9

■ 子育て支援が必要な時期

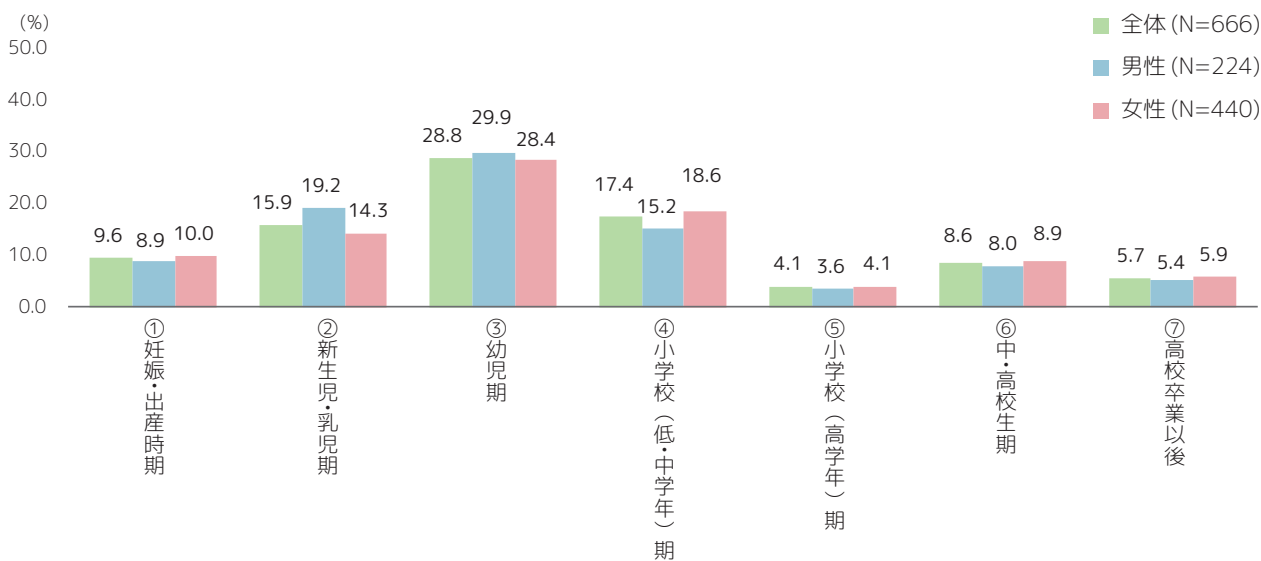
－それぞれの成長段階で子育て支援が必要だと思う時期は、いつですか－

- 最も必要な時期は「新生児・乳児期」が全体で 42.6% (男性 40.6%、女性 43.9%) [前回調査：全体 40.4% (男性 35.5%、女性 44.3%)] となっており、前回調査と傾向は変わらない。
- 次に必要な時期は「幼児期」が全体で 28.8% (男性 29.9%、女性 28.4%) [前回調査：全体 28.6% (男性 24.4%、女性 31.7%)] となっており、前回調査と傾向は変わらない。

【最も必要な時期】



【次に必要な時期】

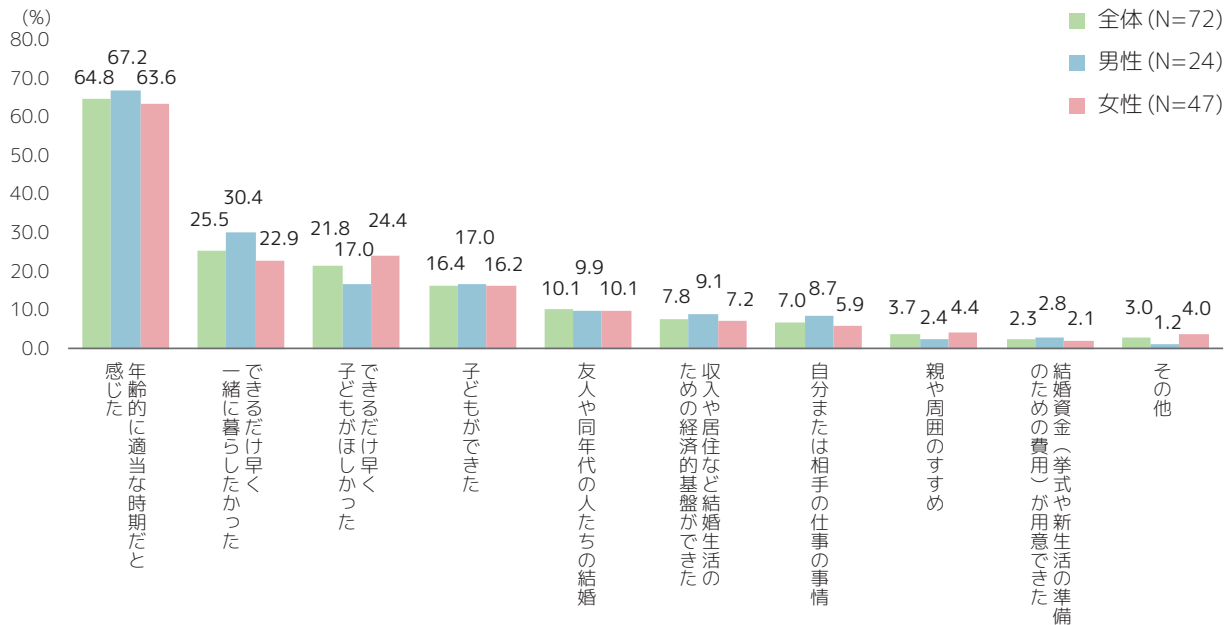




4 結婚に対する意識

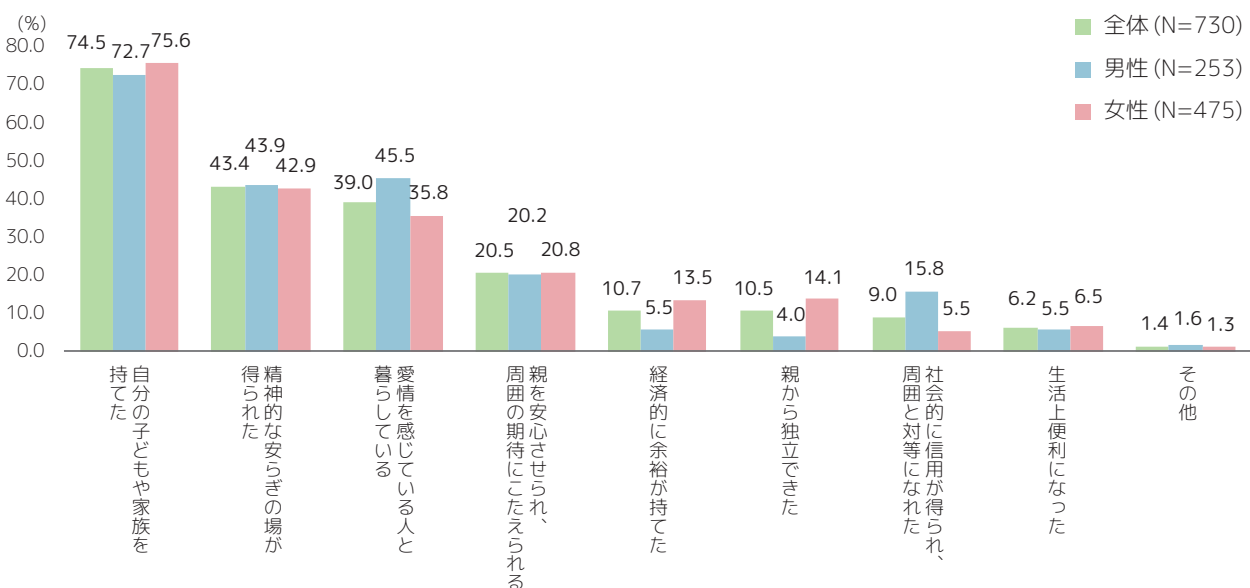
■ 結婚を決めた直接のきっかけ

- 一番多いものは、「年齢的に適当な時期だと感じた」が全体で 64.8% (男性 67.2%、女性 63.6%) となっている。
- 二番目に多い理由は、「できるだけ早く一緒に暮らしたかった」が全体で 25.5% (男性 30.4%、女性 22.9%)、三番目は「できるだけ早く子どもがほしかった」が全体で 21.8% (男性 17.0%、女性 24.4%) となっており、一番目以降の理由とは大きく差が開いている。



■ 結婚したことによって感じたこと

- 一番多いものは、「自分の子どもや家族を持てた」が全体で 74.5% (男性 72.7%、女性 75.6%) となっている。
- 二番目に多い理由は、「精神的な安らぎの場が得られた」が全体で 43.4% (男性 43.9%、女性 42.9%) となっている。



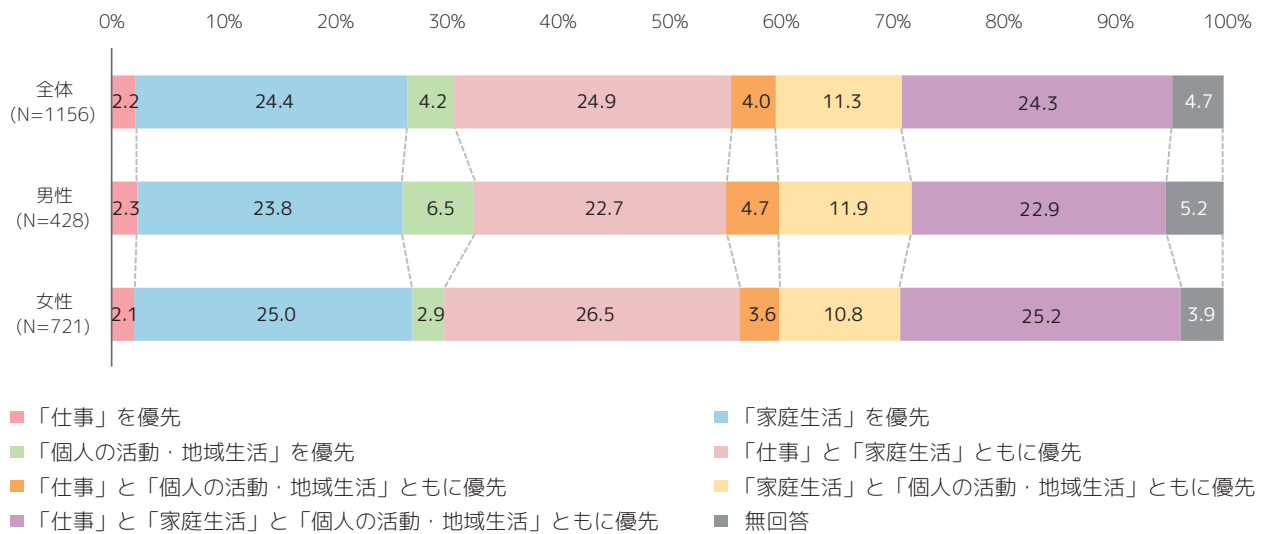
5 ワークライフバランスに関する意識

■「仕事」「家庭生活」「個人の活動・地域生活」の優先度

ー生活の中で「仕事」「家庭生活」「個人の活動・地域生活」の優先度について、【希望】と【現実】それぞれ最も近いものを選んでくださいー

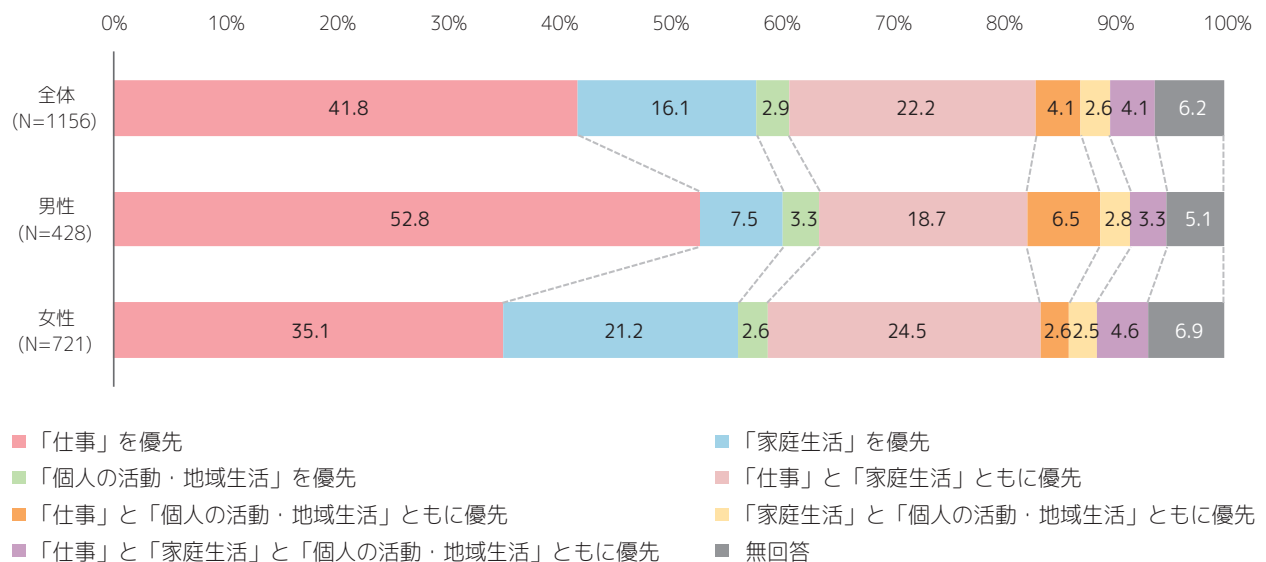
【希望】

- 「仕事と家庭生活ともに優先」が全体 24.9%（男性 22.7%、女性 26.5%）と、全体で最も多い。2位以下は「家庭生活を優先」が全体 24.4%（男性 23.8%、女性 25.0%）、「仕事と家庭生活と個人の活動・地域生活」が全体 24.3%（男性 22.9%、女性 25.2%）と大きな差は見られない。
〔前回調査では、「仕事と家庭生活と地域生活ともに優先」（29.8%）、「仕事と家庭生活を優先」（24.3%）、「家庭生活を優先」（19.6%）の順となっており、今回調査と順番が変わっている。〕



【現実】

- 「仕事を優先」が全体 41.8%（男性 52.8%、女性 35.1%）と、全体で最も多い。2位以下は「仕事と家庭生活ともに優先」が全体 22.2%（男性 18.7%、女性 24.5%）と、「家庭生活を優先」が全体 16.1%（男性 7.5%、女性 21.2%）となっており、大きな差は見られない。
○ 前回調査と傾向は変わらない（「仕事を優先」（40.5%）、「仕事と家庭生活を優先」（28.6%）、「家庭生活を優先」（14.1%））



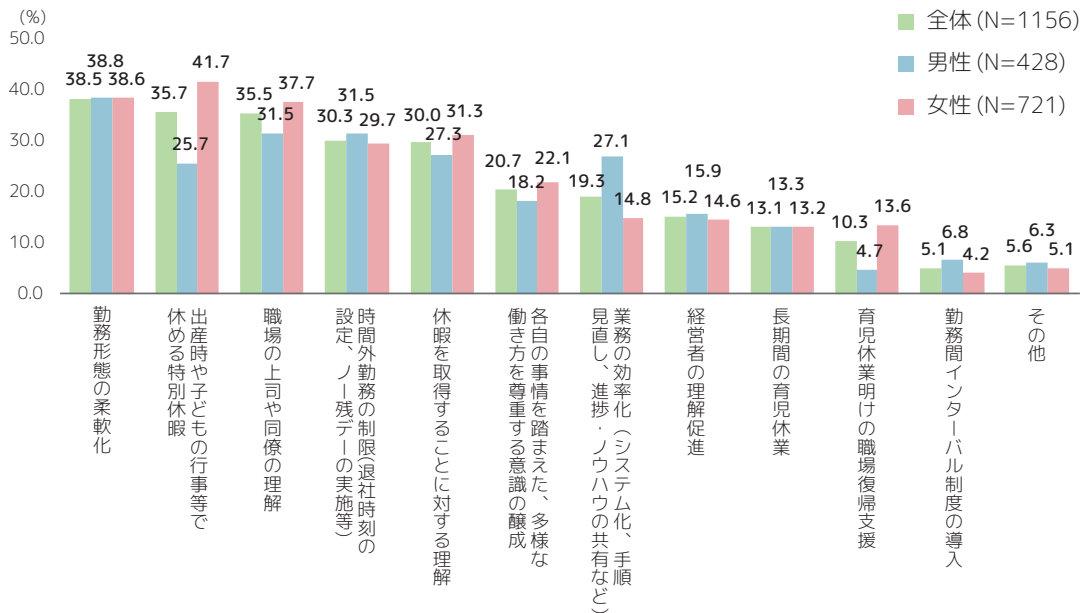
参考資料



■ ワークライフバランス実現に職場に必要なこと

－ワークライフバランスを実現するために、職場において何が必要だと思いますか（3つ以内）－

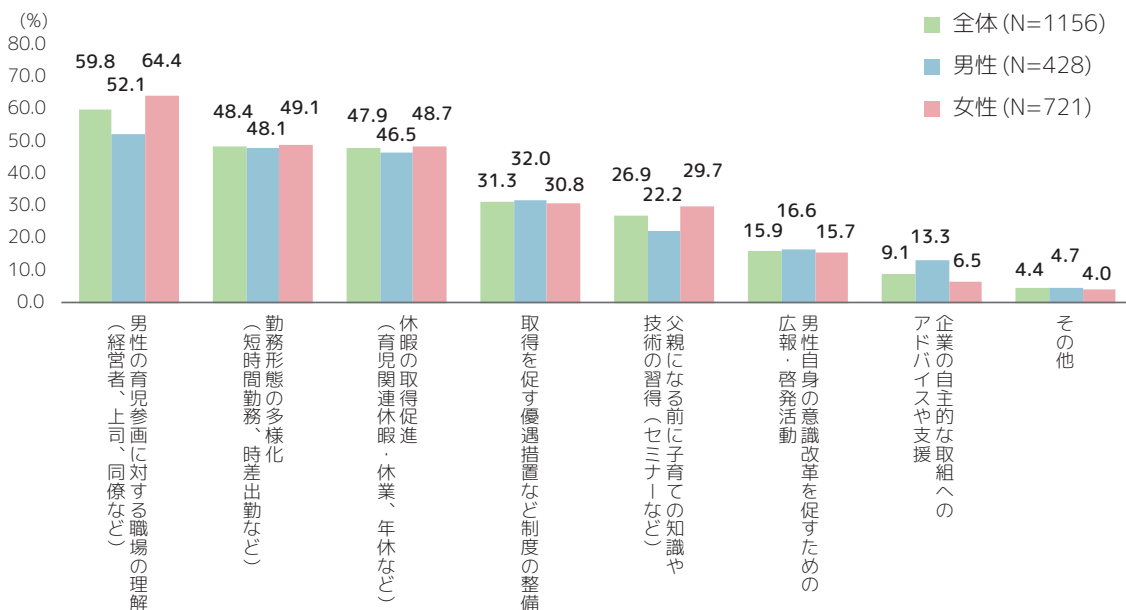
- 「勤務形態の柔軟化」が全体で38.5%（男性38.8%、女性38.6%）と最も多く、次いで「出産時や子どもの行事等で休める特別休暇」が全体で35.7%（男性25.7%、女性41.7%）となっている。
- 性別でも、男性では「勤務形態の柔軟化」が38.8%で一番多く、女性では「出産時や子どもの行事等で休める特別休暇」が41.7%と最も多くなっている。



■ 男性の育児参画を促すために必要なもの

－男性の育児参画を促すために何が必要だと思いますか（3つ以内）－

- 「男性の育児参画に対する職場の理解（経営者、上司、同僚など）」が全体59.8%（男性52.1%、女性64.4%）と最も多い。2位以下は「勤務形態の多様化（短時間勤務、時差出勤など）」が全体で48.4%（男性48.1%、女性49.1%）、「休暇の取得促進（育児関連休暇・休業、年休など）」が全体で47.9%（男性46.5%、女性48.7%）と大きな差は見られない。

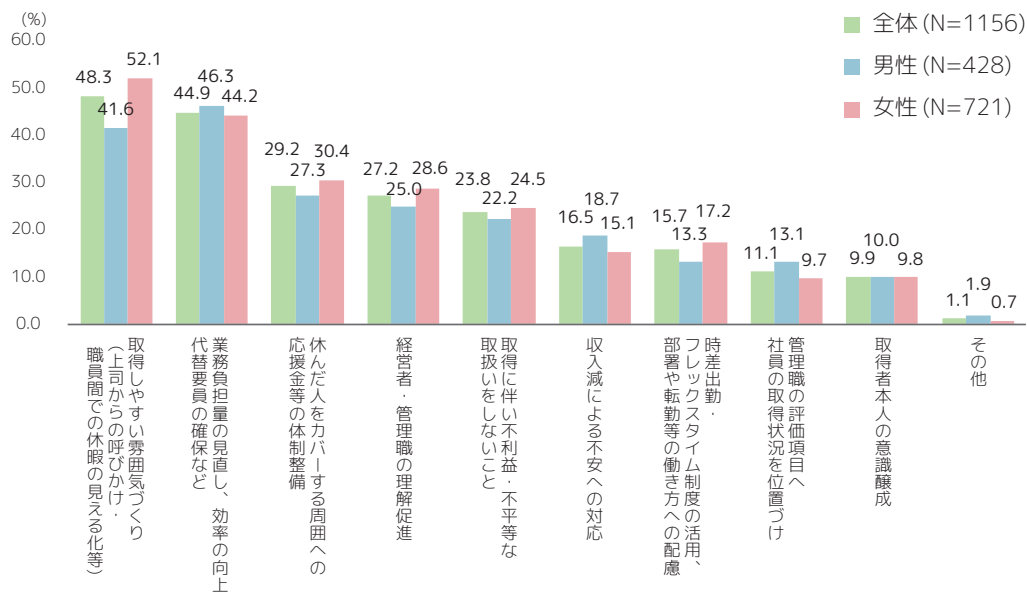


■ 年次有給休暇を取得しやすい環境整備に必要な行政の支援

～年次有給休暇や男性の育児休業を取得しやすい環境の整備のために必要な行政の支援は何だと思いますか（2つ以内）～

(a) 年次有給休暇

○「取得しやすい雰囲気づくり（上司からの呼びかけ・職員間での休暇の見える化等）」が全体で48.3%（男性41.6%、女性52.1%）と最も多く、次いで「業務負担量の見直し、効率の向上、代替要員の確保など」が全体で44.9%（男性46.3%、女性44.2%）となっている。

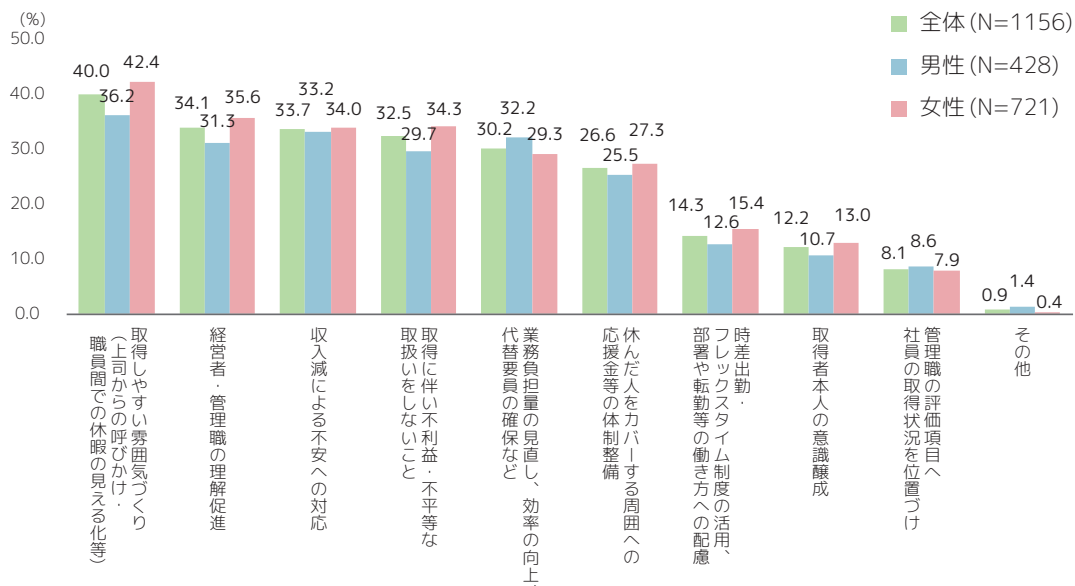


■ 男性の育児休業を取得しやすい環境整備に必要な行政の支援

～年次有給休暇や男性の育児休業を取得しやすい環境の整備のために必要な行政の支援は何だと思いますか（2つ以内）～

(b) 男性の育児休業

○「取得しやすい雰囲気づくり」が全体で40.0%（男性36.2%、女性42.4%）と最も多い。
○2位以下は「経営者・管理職の理解促進」「収入源による不安への対応」「取得に伴い不利益・不平等な取扱いをしないこと」と大きな差は見られない。





5 「子どもの意識調査（子どもの意見アンケート）」の概要

調査目的

「いしかわエンゼルプラン 2020」の改定に当たり、子どもたちの生活実態や考えを把握し、今後の子ども施策等に反映することを目的とする。

調査対象

石川県内全ての小学6年生、中学2年生、高校2年生
計 28,851 人

〔小学6年生：9,400人〕
〔中学2年生：9,530人〕
〔高校2年生：9,921人〕

調査方法

インターネットにより回答

調査期間

令和6年7月16日～7月31日
(追加依頼：令和6年9月12日～9月30日)

回答者数

8,920人（回答率 30.9%）

回答人数

全体	8,920
小学6年生	3,791
中学2年生	2,696
高校2年生	2,433

平日の1日あたり、家族と過ごす時間はどれだけありますか？

	全くない	30分程度	1時間程度	2時間程度	3時間程度	4時間程度	4時間以上	“無回答”
全体	0.8%	2.3%	7.0%	11.9%	15.5%	13.0%	48.7%	0.8%
小学6年生	0.4%	1.6%	4.2%	7.3%	12.4%	14.4%	58.6%	1.1%
中学2年生	0.5%	1.3%	5.4%	11.7%	16.3%	13.8%	50.3%	0.8%
高校2年生	1.6%	4.6%	13.1%	19.4%	19.3%	10.0%	31.6%	0.3%

家族とどのように過ごしていますか？

	同じ空間で別のことをして過ごす	一緒にご飯を食べる	一緒にテレビや動画を見る	一緒に買い物に行く	一緒にゲームをする	一緒に体を動かして遊ぶ	一緒に本を読む	親や兄弟姉妹に勉強を教えてもらう・勉強を教える
全体	74.4%	89.3%	63.7%	59.4%	9.7%	20.3%	4.9%	29.7%
小学6年生	75.7%	91.4%	68.5%	65.5%	0.1%	29.7%	8.0%	40.2%
中学2年生	76.6%	91.2%	66.7%	61.1%	22.8%	19.0%	4.2%	31.0%
高校2年生	70.1%	83.8%	52.9%	47.9%	10.0%	7.1%	1.1%	11.9%

	学校・塾などの送り迎えをしてもらう	世間話や身近な出来事について会話する	料理や掃除などの家事を手伝う	家業を手伝う	家族の世話、病気等の家族の看病をする	自室等で過ごすため、家族とはほとんど関わっていない	一人暮らしや下宿、寮のため家族とはほとんど関わっていない	“無回答”
全体	56.2%	63.6%	40.6%	13.9%	7.1%	4.6%	0.4%	1.4%
小学6年生	61.9%	69.7%	48.5%	11.7%	11.3%	5.5%	0.0%	1.7%
中学2年生	53.1%	63.2%	40.2%	17.1%	5.2%	3.0%	0.3%	1.3%
高校2年生	50.7%	54.4%	28.8%	13.9%	2.8%	4.9%	1.1%	1.0%

家族とどのような関係を築きたいですか？

	仲良く暮らしたい	今の関係を維持したい	距離を置きたい	その他	“無回答”
全体	39.8%	55.4%	2.6%	0.8%	1.4%
小学6年生	37.9%	57.2%	2.2%	1.1%	1.7%
中学2年生	42.6%	52.8%	2.6%	0.7%	1.3%
高校2年生	39.6%	55.5%	3.4%	0.5%	1.0%

友達とどのような関係を築きたいですか？

	もっと親密になりたい	今の距離感を維持したい	距離を置きたい	その他	“無回答”
全体	46.2%	50.6%	1.3%	0.7%	1.2%
小学6年生	55.6%	40.6%	1.6%	1.0%	1.2%
中学2年生	39.7%	57.0%	1.1%	0.6%	1.5%
高校2年生	38.8%	59.1%	1.0%	0.5%	0.7%

平日の1日あたり、勉強以外でインターネット（動画視聴やオンラインゲームなど）をする時間はどれだけありますか？

	全くない	30分程度	1時間程度	2時間程度	3時間程度	4時間程度	4時間以上	“無回答”
全体	2.7%	6.4%	18.4%	30.4%	20.7%	7.4%	13.3%	0.7%
小学6年生	4.5%	8.3%	19.9%	28.2%	18.1%	7.4%	12.7%	0.9%
中学2年生	1.8%	5.9%	17.7%	31.0%	23.2%	7.0%	12.6%	0.8%
高校2年生	0.9%	4.1%	16.8%	33.0%	22.0%	7.7%	15.2%	0.2%



家での過ごし方に希望はありますか？

	もっと家族と過ごしたい	もっと友達と遊びたい	もっと一人でテレビや動画が見たい、ゲームがしたい	もっと寝たい、のんびりしたい	もっと勉強する時間が欲しい	もっとスポーツや楽器等の練習時間が欲しい
全体	28.1%	45.6%	35.0%	55.3%	14.7%	18.4%
小学6年生	40.1%	55.6%	38.5%	46.7%	10.6%	18.9%
中学2年生	23.3%	45.2%	37.1%	57.6%	15.8%	23.0%
高校2年生	14.7%	30.4%	27.4%	66.2%	19.6%	12.6%
	もっと一人の時間が欲しい	家事手伝いを増やしたい	家事手伝いを減らしたい	習い事を増やしたい	習い事を減らしたい	“無回答”
全体	25.8%	12.9%	3.3%	6.6%	6.7%	6.3%
小学6年生	25.5%	17.1%	4.3%	10.9%	11.5%	2.8%
中学2年生	28.8%	11.5%	3.2%	5.1%	5.1%	8.7%
高校2年生	22.9%	7.9%	1.8%	1.6%	0.9%	9.0%

安心できる・落ち着く場所はどこですか？

	自宅	下宿先、寮	祖父母の家	友達の家	学校(部活動を含む)	塾・習い事の教室	放課後クラブ・こども会	児童館・公民館	図書館	こども食堂
全体	92.4%	0.3%	30.4%	17.9%	24.9%	9.1%	4.7%	3.5%	17.0%	0.6%
小学6年生	92.1%	-	40.7%	23.1%	30.8%	13.0%	8.9%	6.8%	23.8%	1.2%
中学2年生	92.0%	0.5%	28.6%	19.1%	25.4%	8.8%	2.5%	1.8%	14.7%	0.3%
高校2年生	93.3%	0.7%	16.2%	8.7%	15.1%	3.4%	0.7%	0.2%	9.0%	0.1%
	公園・プレーパーク	LINEなどのグループチャット	SNSやインターネット掲示板	商業施設(ショッピングモール)	カフェなどの飲食店	ゲームセンター・カラオケ	ボーイスカウト・ガールスカウト	スポーツクラブ・ジム	アルバイト先	“無回答”
全体	7.4%	9.6%	4.4%	3.4%	6.9%	8.6%	0.3%	0.3%	0.1%	1.2%
小学6年生	11.7%	10.9%	3.1%	3.9%	7.6%	9.0%	0.5%	-	-	0.9%
中学2年生	5.5%	10.9%	5.6%	4.2%	7.0%	8.6%	0.1%	0.0%	-	1.4%
高校2年生	2.7%	5.9%	5.1%	1.8%	5.5%	7.9%	0.2%	1.2%	0.5%	1.4%

幸せを感じる時がありますか？

	よくある	ある	あまりない	ない	“無回答”
高校2年生	34.5%	56.2%	7.4%	1.1%	0.8%

自分は愛されていると感じますか？

	非常に感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	全く感じない	“無回答”
全体	42.9%	36.7%	14.6%	2.8%	1.4%	1.7%
小学6年生	45.9%	34.4%	13.2%	2.8%	1.6%	2.1%
中学2年生	43.2%	36.1%	14.7%	2.7%	1.5%	1.7%
高校2年生	37.9%	40.9%	16.5%	2.8%	0.9%	1.0%

孤独を感じることはありませんか？

	非常に感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	全く感じない	“無回答”
全体	3.3%	15.0%	22.6%	32.3%	25.1%	1.6%
小学6年生	2.9%	12.5%	20.0%	31.4%	31.3%	1.9%
中学2年生	2.8%	13.4%	23.9%	33.5%	24.9%	1.6%
高校2年生	4.6%	20.8%	25.3%	32.6%	15.7%	1.2%

自分には良いところがあると思いますか？

	思う	どちらかといえば思う	どちらかといえば思わない	思わない	“無回答”
高校2年生	34.0%	46.7%	13.3%	4.7%	1.2%

自分は価値のある人間だと思いますか？

	思う	どちらかといえば思う	どちらかといえば思わない	思わない	“無回答”
全体	31.5%	43.7%	16.1%	6.2%	2.5%
小学6年生	34.5%	42.0%	14.4%	6.3%	2.8%
中学2年生	29.8%	44.6%	16.4%	6.2%	3.0%
高校2年生	28.6%	45.4%	18.6%	6.0%	1.4%

※「幸せを感じる時がありますか？」「自分には良いところがあると思いますか？」の設問については、全国学力・学習状況調査で同様の設問があり、調査結果の重複を避けるため、今回は高校生のみを対象として実施した。

<参考：R5 全国学力・学習状況調査のアンケート結果>

- ①自分には、よいところがあると思う
小学校6年生 82.5%
中学校3年生 79.8%

- ②普段の生活の中で、幸せな気持ちになる
小学校6年生 91.2%
中学校3年生 88.4%

自分は役にたたない人間だと感じることはありませんか？

	思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	思わない	“無回答”
全体	10.4%	27.3%	34.2%	25.8%	2.3%
小学6年生	9.3%	22.9%	33.6%	31.6%	2.6%
中学2年生	9.9%	28.3%	34.3%	24.9%	2.6%
高校2年生	12.7%	33.1%	35.1%	17.6%	1.5%

困ったときや不安や悩み、心配事を誰に（どこに）相談していますか？

	母親	父親	兄弟姉妹	祖父母	学校の先生	友達	先輩・後輩	インターネット上（SNSや匿名 掲示板、動画 配信者など） の面識のない人	「24時間子供 SOS相談 テレホン」 などの電話・ SNS相談窓口	“無回答”
全体	64.0%	29.7%	18.0%	10.2%	16.4%	57.8%	7.7%	2.7%	0.5%	5.2%
小学6年生	70.0%	33.2%	17.9%	13.0%	19.5%	52.9%	3.9%	2.1%	0.8%	4.5%
中学2年生	63.3%	30.7%	20.3%	10.8%	17.5%	61.0%	11.8%	3.0%	0.3%	4.7%
高校2年生	55.5%	23.2%	15.8%	5.1%	10.3%	61.9%	9.2%	3.4%	0.3%	6.9%

「24時間子供SOS相談テレホン」などの相談機関の連絡先を知っていますか？

	知っている	知らない	必要があれば インターネット で調べる	“無回答”
全体	13.4%	50.0%	29.2%	7.3%
小学6年生	11.3%	54.9%	27.8%	6.0%
中学2年生	14.2%	49.0%	28.3%	8.6%
高校2年生	15.9%	43.6%	32.4%	8.1%

将来の理想の家庭像はどんなものですか？

	子ども （兄弟姉妹） がいる	パートナーと 困ったときに 助け合える	パートナーと 同じ趣味を 持つ	パートナーと 本音で話せる	パートナー とはお互いに 干渉しない	お金に 不自由なく 生活できる
全体	53.0%	35.5%	18.3%	34.9%	6.8%	68.6%
小学6年生	52.0%	-	-	-	-	71.5%
中学2年生	54.8%	59.7%	31.2%	59.8%	11.5%	68.9%
高校2年生	52.6%	64.0%	32.6%	61.7%	12.3%	63.8%
	余暇を楽しむ 時間的な 余裕がある	両親と ともに生活 している	祖父母と ともに生活 している	近所付き合い がある	家庭を 持ちたく ない	“無回答”
全体	64.8%	14.6%	5.9%	31.3%	5.4%	2.6%
小学6年生	69.4%	25.5%	10.2%	37.2%	4.1%	2.1%
中学2年生	61.6%	9.2%	4.3%	31.6%	6.7%	3.4%
高校2年生	61.1%	3.5%	1.1%	21.9%	6.0%	2.4%

将来生活したい場所はどこですか？

	現在 住んでいる 市町	石川県内 （現在住んで いる市町を 除く）	東京圏	大阪や 名古屋などの 大・中規模 都市圏	石川県外 （東京圏や大・ 中規模都市 圏を除く）	外国	その他	“無回答”
全体	25.5%	28.8%	8.2%	10.9%	12.6%	3.8%	6.8%	3.4%
小学6年生	35.5%	21.4%	9.5%	7.1%	13.2%	3.5%	7.3%	2.6%
中学2年生	22.2%	30.9%	7.7%	11.8%	11.8%	4.5%	7.0%	4.0%
高校2年生	13.7%	38.1%	6.6%	15.9%	12.7%	3.4%	5.8%	3.8%

将来パートナーを持ちたいですか？（結婚したいですか？）

	思う	どちらかとい えば そう思う	どちらかとい えば そう思わない	思わない	“無回答”
全体	46.1%	31.8%	10.9%	8.5%	2.7%
小学6年生	40.6%	33.8%	12.6%	10.0%	3.0%
中学2年生	45.6%	33.1%	9.9%	8.2%	3.2%
高校2年生	55.1%	27.0%	9.5%	6.4%	2.0%

将来子どもが欲しいですか？

	思う	どちらかとい えば そう思う	どちらかとい えば そう思わない	思わない	“無回答”
全体	44.4%	28.4%	12.8%	11.7%	2.7%
小学6年生	46.4%	27.2%	12.3%	11.3%	2.7%
中学2年生	40.3%	31.6%	12.7%	12.2%	3.2%
高校2年生	45.7%	26.7%	13.6%	11.8%	2.2%

このほか、行政に求めることや将来の夢、子どもの居場所などについて、自由記載で意見を求めた。